

.NET Framework 用フォント加工画像作成ツール

FontTrans.NET



シェアウェア版

Operation MANUAL

Version 1.01

Pao@Office

Copyright©2003 Pao@Office & Atsuhiko HATTORI

All rights reserved.

本書は、服部敦彦(以下「作者」と表記します。)が開発し、有限会社パオ・アット・オフィス(以下「弊社」と表記します。)が販売・サポートを行うソフトウェア「**FontTrans.NET**」についての説明を行うものです。

利用者は本書のいかなる部分も、発行者の許可なく、複製を行ってはいけません。

作者及び弊社は、本書の内容に起因する一切の結果に関して、いかなる責任も負いません。

作者及び弊社は、本書の内容、または **FontTrans.NET** の仕様を予告なく改訂、あるいは、内容変更する権利を有します。また、それらの行為を行った場合においても、利用者への通知の義務を負いません。

作者及び弊社は、**FontTrans.NET** の仕様に起因する結果にたいして、いかなる責任も負いません。

マニュアル中での画像は、説明のため見やすく編集している箇所があります。利用者の皆様の画面とは一致しない場合がございますので、あらかじめご了承ください。

本マニュアルの中で記載されている製品名は、各社の登録商標もしくは商標です。

シェアウェア販売・サポート

有限会社パオ・アット・オフィス

郵便番号 **116-0013**

東京都荒川区西日暮里 5 丁目 **37-5** 西日暮里スタートアップオフィス **207**

<http://www.pao.ac/>

目次

はじめに	1
画像作成例.....	2
動作条件	3
インストール方法.....	4
機能と使用方法.....	5
機能概要.....	5
サンプルアプリケーションの操作方法.....	9
FTSampleCs(C#.NET で記述した場合のサンプル).....	9
FTSampleVB(VB.NET で記述した場合のサンプル).....	9
NpFontTransApp (各プロパティの効果を確認するサンプル).....	10
FontTrans.NET で出来ること(各プロパティの説明).....	12
製品版について.....	21
Q&A	22
使用許諾	23
代金支払い方法(ユーザ登録の方法).....	24
変更履歴	26

はじめに

FontTrans.NET は、**Microsoft .NET Framework** 上でフォントを加工した画像を作成するツールです。フォントを物理的な大きさ(ポイント数等)で指定して描画するのではなく、決められた領域内に入るように拡大/縮小して描画します。

皆様がお作りになるアプリケーションから、**Graphics** オブジェクトを受け渡す事により、**FontTrans.NET** は、その **Graphics** オブジェクトに対して、フォントを加工した画像を描画します。このため、簡単に様々な用途でお使い頂けると思います。価格 **POP** 作成時の価格数字印刷、帳票ツールの部品としての組み込み、資料のちょっとしたアクセント等にご利用頂ければ幸いです。

なお、**FontTrans.NET** のエンジン部分を用いたフリーソフトウェア「**NpFontTransApp**」も公開しております。各プロパティにより実際に作成出来るパターンの確認や、ユーザとの打ち合わせ等にご活用頂ければと思います。極端な話、このフリーソフトウェアだけで要件が満たされてしまう場合もあるかもしれません。

本マニュアルは、**Ver1.0** の仕様にあわせて作成しております。将来、仕様は予告なく変更させて頂きまので、ご注意下さい。

なお、本マニュアルに関して、誤字、脱字、内容の不備等ございましたら、ご指摘頂きますようお願い申し上げます。

画像作成例

FontTrans.NET を使って作成した画像の例です。それぞれの文字装飾は組み合わせて使うことが出来るため、ここでの例を組み合わせた様々な画像を作成する事が可能です。



動作条件

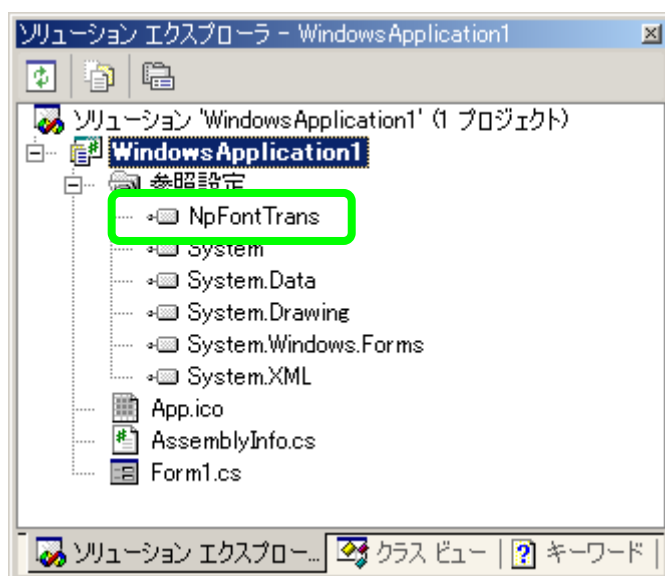
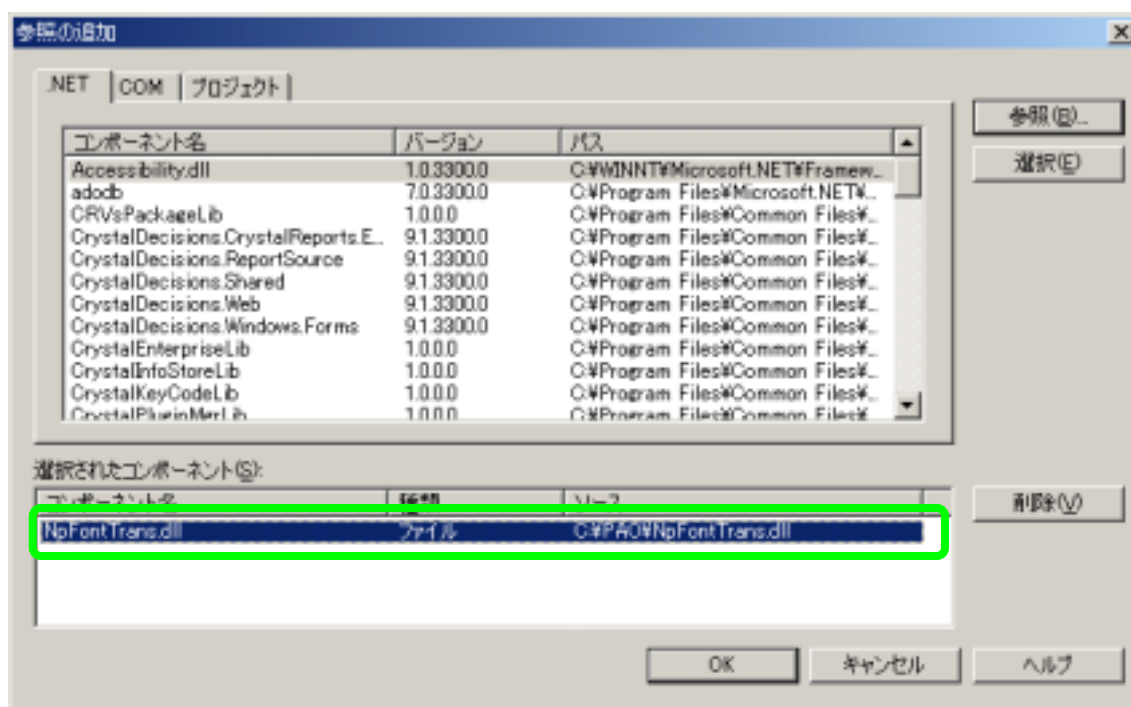
本製品を使用するためには、以下の条件を満たす環境のパソコンが必要です。

OS	Microsoft.NET Framework が正常に動作するものである事
動作に必要なメモリ	Microsoft .NET Framework が正常に動作するために必要な容量
画面解像度	特に制限なし
開発環境	Microsoft Visual Studio .NET がインストールされている事

インストール方法

Np.FontTrans.dll をコピーするだけです。

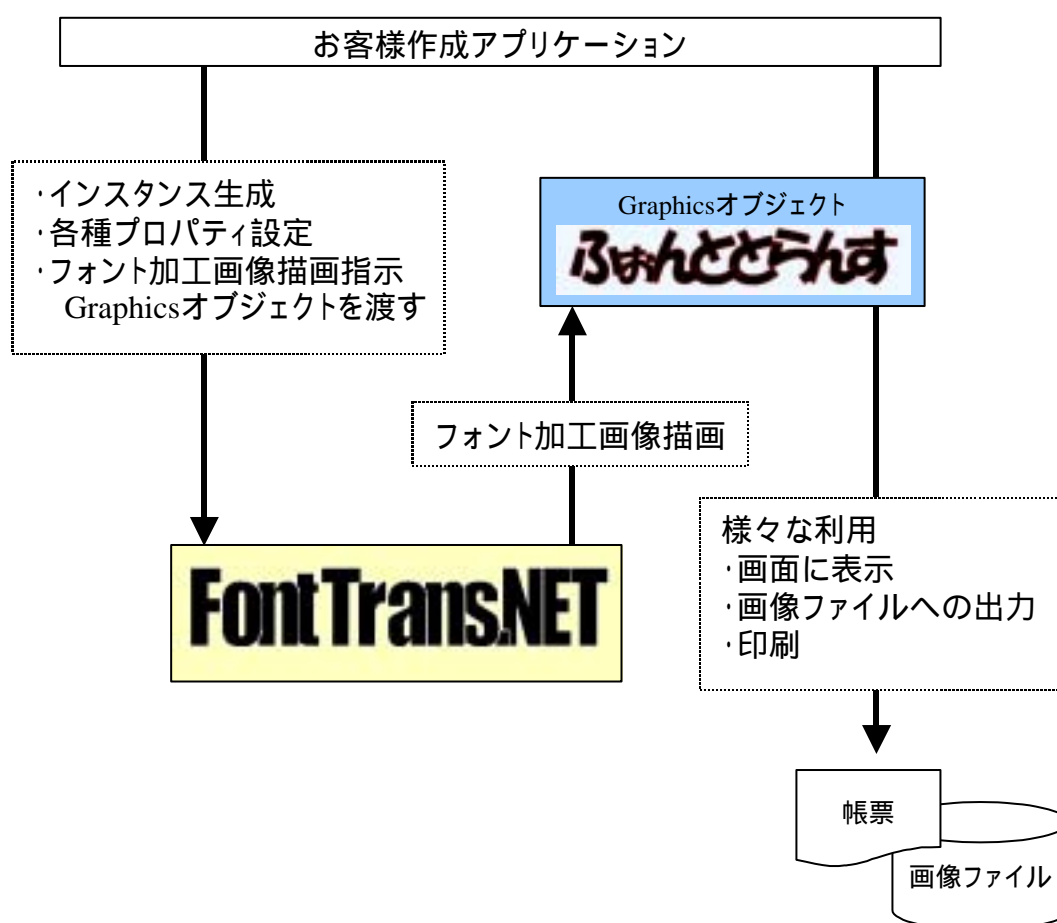
任意のフォルダ(ディレクトリ)にファイルをコピーし、**.NET** のプロジェクトに参照の追加をして下さい。



機能と使用方法

機能概要

FontTrans.NET は 1 つのクラスで構成されています。このクラスは、コンストラクタで.NET の `System.Drawing.Graphics` オブジェクトを受け取り、`Graphics` オブジェクトに対してフォント加工画像を描画します。



クラス仕様

FontTrans.NET は 1 つのクラスと 40 個のプロパティ、1 つのメソッドで構成されています。

Np.FontTrans

NpFontTrans

プロパティ

「FontTrans.NET で出来ること」を参照して下さい。

メソッド

public void Draw(System.Drawing.Graphics g)

フォント加工画像を描画します。

- ・ 引数

System.Drawing.Graphics g

フォント加工画像を描画する **Graphics** を指定します。

- ・ 戻り値
なし。

C#での使用例

フォームのペイントイベントに以下のようなコードを記述してみてください。実行すると、フォームに「MS ゴシック」で文字が青、縁が赤い「19,800」という文字が描画されます。(下左図)「19,800」「青」「MS ゴシック」はそれぞれプロパティで指定した物、赤い縁取りはデフォルトの状態です。

```
private void Form1_Paint(object sender, System.Windows.Forms.PaintEventArgs e)
{
    //新しいインスタンスを生成します
    Np.FontTrans.NpFontTrans npft = new Np.FontTrans.NpFontTrans();

    //必要に応じてプロパティを設定します
    npft.文字列 = "19,800";
    npft.文字色 = Color.Blue;
    npft.文字フォント名 = "MS ゴシック";

    //Graphicsオブジェクトを指定して、フォント加工画像を描画します
    npft.Draw(e.Graphics);
}
```

プロパティを少し変更してみましょう。こうすると、袋文字になります。(下右図)

```
//必要に応じてプロパティを設定します
npft.文字列 = "19,800";
npft.文字色 = Color.White;
npft.重ね率 = 50;
npft.文字フォント名 = "MS ゴシック";
```



VB.NET での使用例

フォームのペイントイベントに以下のようなコードを記述してみてください。実行すると、フォームに「MS ゴシック」で文字が青、縁が赤い「19,800」という文字が描画されます。(下左図)「19,800」「青」「MS ゴシック」はそれぞれプロパティで指定した物、赤い縁取りはデフォルトの状態です。

```
Protected Overrides Sub OnPaint(ByVal e As PaintEventArgs)

    '新しいインスタンスを生成します
    Dim npft As Np.FontTrans.NpFontTrans = New Np.FontTrans.NpFontTrans()

    '必要に応じてプロパティを設定します
    npft.文字列 = "19,800"
    npft.文字色 = Color.Blue
    npft.文字フォント名 = "MS ゴシック"

    'Graphicsオブジェクトを指定して、フォント加工画像を描画します
    npft.Draw(e.Graphics)

End Sub
```

プロパティを少し変更してみましょう。こうすると、袋文字になります。(下右図)

```
//必要に応じてプロパティを設定します
npft.文字列 = "19,800"
npft.文字色 = Color.White
npft.重ね率 = 50
npft.文字フォント名 = "MS ゴシック"
```

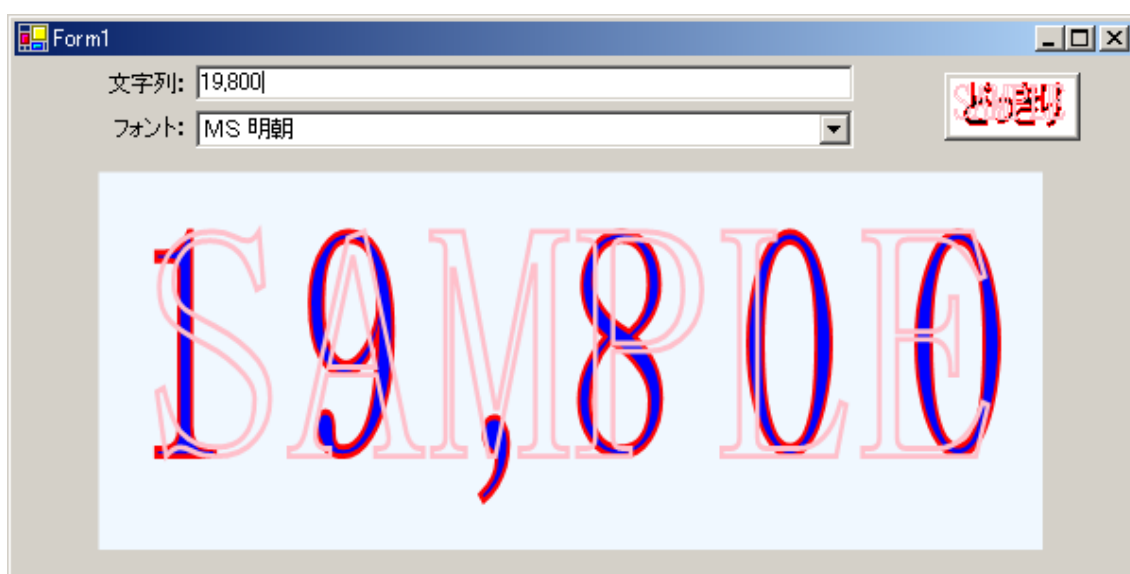


サンプルアプリケーションの操作方法

FTSampleCs(C#.NET で記述した場合のサンプル)

FTSampleVB(VB.NET で記述した場合のサンプル)

それぞれ「FTSampleCs.sln」「FTSampleVB.sln」がプロジェクトファイルです。これら2つのサンプルを実行すると、以下のようなフォームが表示されます。文字列テキストボックス及びフォントコンボボックスの値を変更すると、それぞれの値に従って画像が切り替わります。「どっきり」はボタン自身に画像を貼り付けた例です。



NpFontTransApp(各プロパティの効果を確認するサンプル)

このサンプルは、各プロパティが生成される画像にどう影響するかを確認して頂く目的で作成したものです。プロジェクトファイル「NpFontTransApp.sln」を実行すると以下のような画面が表示されます。それぞれの項目を操作する事により、画像の生成を行います。なお、フリーソフトとして配布しているものは、DLL ではなく、直接 FontTrans.NET の機能をアプリケーションに内蔵したもので、「SAMPLE」の表記が入りません。

(画面はバージョンや環境等により、多少異なる可能性があります。)



- (1) 画像幅指定テキストボックス
生成する画像を描画する領域の「幅」をピクセル単位で指定します。
- (2) 画像高さ指定テキストボックス
生成する画像を描画する領域の「高さ」をピクセル単位で指定します。
- (3) フォント選択コンボボックス
生成する画像で用いるフォントを選択します。コンボボックスにはインストールされているフォントがセットされます。(フォントはプロパティグリッドでも設定出来ますが、そこは名称を直接入力する必要があります。ここでの一覧から選択の方が操作が確実に行えます。)
- (4) アンチエイリアスチェックボックス
この欄にチェックを入れると、生成する画像がアンチエイリアス処理(枠線がぼけた感じになります。作者は嫌いな手法なのですが、最近の流行りみたいです。)されます。
- (5) プロパティグリッド
生成する画像のプロパティを指定します。ここでの値を色々変更することにより、さまざまな画像を生成する事が出来ます。それぞれのプロパティの意味については、本書「**FontTrans.NET** で出来ること」で説明しています。
- (6) 画像表示領域
生成した画像を表示します。画像が大きく、表示領域内にはいない場合は、スクロールバーによりスクロールさせることが可能です。
- (7) クリップボードへコピーボタン
生成した画像をクリップボードへコピーします。クリップボードへコピーした画像は、任意のアプリケーションソフトへペーストする事が可能です。(アプリケーションソフトによっては、画像のペーストが出来ない物もあります。)
- (8) 画像ファイルに保存ボタン
生成した画像をファイルとして保存します。保存できる形式は「**bmp**」「**jpg**」「**gif**」「**tif**」「**png**」です。

FontTrans.NET で出来ること(各プロパティの説明)

ここでは、**FontTrans.NET** で指定できるプロパティの説明を行います。各プロパティは組み合わせる事が可能です。

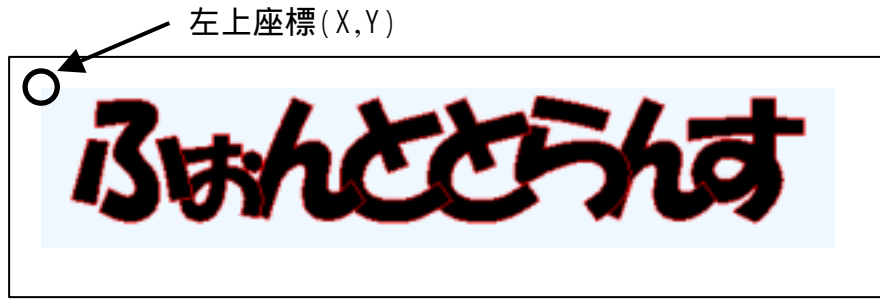
1. 左上座標

✓ 座標 X (**int**)

生成した画像を描画する左上の **X** 座標です。初期値は **0** です。

✓ 座標 Y (**int**)

生成した画像を描画する左上の **Y** 座標です。初期値は **0** です。



※生成する画像を描画する領域(キャンバス)ではありません。

2. 領域

✓ 領域幅 (**int**)

生成する画像の幅をピクセル単位で指定します。初期値は「**500**」です。

✓ 領域背景色 (**Color**)

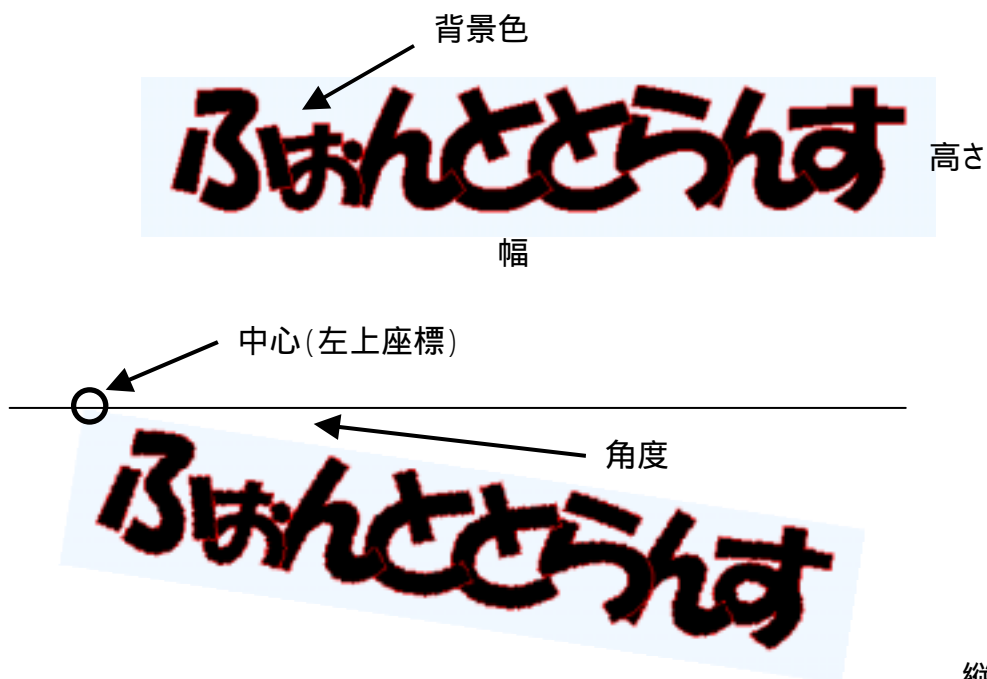
生成する画像の背景色です。初期値は「**AliceBlue**」(薄い水色)です。

✓ 領域角度 (**int**)

生成する画像を描画する時の回転角度です。左上座標を中心に右回り(時計回り)に度の単位で指定します。初期値は「**0**」です。

✓ 領域高さ (**int**)

生成する画像の高さをピクセル単位で指定します。初期値は「**200**」です。



3. 文字列

✓ 文字列(string)

生成する画像の元になる文字列です。改行は出来ません。初期値は「ふおんととらんす。50,000」(50,000 はいわゆる半角)です。

✓ 文字列縦書き(bool)

縦書きを指定する事が出来ます。フォントに縦書き用のデータ(句読点等)がある場合、縦書きを指定すると正しい縦書きの状態で描画されます。初期値は「False」(横書き)です。

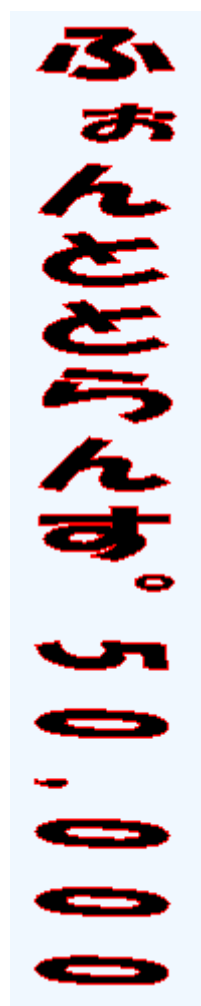
✓ 文字列逆転(bool)

文字列を逆転(逆の順序)にします。初期値は「false」(逆転させない)です。

逆転



縦書き



4. 文字

✓ 文字ハッチ(**bool**)

文字の塗りをベタ(一面同じ色)にするか、ハッチ(平行線等の装飾)にするかを指定します。初期値は「False」(ベタ)です。

✓ 文字ハッチ種類(**HatchStyle**)

文字をハッチにした場合、どの種類のハッチにするかを指定します。初期値は「LargeGrid」(大きな格子)です。

✓ 文字ハッチ背景色(**Color**)

文字をハッチにした場合、ハッチの背景を何色にするかを指定します。初期値は「Aqua」(水色)です。なお、ハッチ自身の色は「文字色」です。

ハッチ



✓ 文字フォント名(**string**)

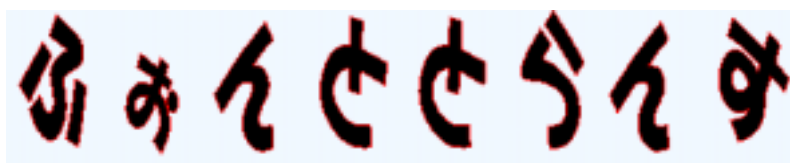
文字を描画するフォント名を指定します。ここで指定したフォントでの描画が出来ない場合(アウトラインが取り出せない場合)は、「このフォントは FontTrans に対応していません。」と描画されます。初期値は「MS 明朝」です。

✓ 文字回転角度(**int**)

描画する文字を 1 文字単位で回転させます。文字の中心を右回り(時計回り)に度の単位で指定します。初期値は「0」です。

【注意】この指定を行った場合、文字が描画領域からはみ出してしまう場合があります。その場合は、描画する文字にスペースを含める等して工夫してください。

文字回転角度指定(30)



- ✓ 文字太字(**bool**)
文字を太字にして描画します。初期値は「**False**」(標準の太さ)です。
- ✓ 文字枠線太さ(**float**)
文字の枠線の太さを指定します。「**0**」に設定すると枠線は描画しません。初期値は「**1**」です。
- ✓ 文字枠線種類(**DashStyle**)
文字の枠線の種類を指定します。初期値は「**Solid**」(切れ目なし)です。

文字枠線太さ指定 (3) 文字枠線種類指定 (Dot)



- ✓ 文字枠線色(**Color**)
文字の枠線の色を指定します。初期値は「**Red**」(赤色)です。
 - ✓ 文字色(**Color**)
文字の色を指定します。ハッチが指定されている場合は、ハッチの色となります。初期値は「**Black**」(黒色)です。
5. 文字全域
- ✓ 重ね右前(**bool**)
文字を重ねる場合、右側を前にするかどうかを指定します。初期値は「**False**」(右を前にしない=左前)です。
 - ✓ 重ね桁区切り処理(**bool**)
桁区切り文字に対して、重ね率を別設定するかどうかを指定します。初期値は「**True**」(桁区切り処理を行う)です。
 - ✓ 重ね桁区切り文字(**string**)
桁区切り処理を行う文字を指定します。初期値は「**,.**」(いわゆる半角のカンマとピリオド)です。
 - ✓ 重ね桁区切り率前

桁区切りを行う文字のひとつ前(横書き時は左、縦書き時は上)の文字に対する重ね率を指定します。この値は「重ね率」に加算されます。初期値は「0」です。

✓ **重ね桁区切り率後(int)**

桁区切りを行う文字のひとつ後(横書き時は右、縦書き時は下)の文字に対する重ね率を指定します。この値は「重ね率」に加算されます。初期値は「0」です。

✓ **重ね率(int)**

ひとつ後(横書き時は右、縦書き時は下)が一つ前(横書き時は左、縦書き時は上)の文字に対して重ねる割合を設定します。文字の大きさ(横書き時は幅、縦書き幅は高さ)に対して、重ねる割合をパーセントで指定します。初期値は「0」です。

重ね率指定(60)



右前指定(true) 重ね率指定(60)



桁区切り処理指定(False)



桁区切り処理指定(True)



6. 射影

✓ 射影 X (int)

生成する画像を X 軸で射影(上下反転)します。初期値は「False」(X 軸で射影しない)です。

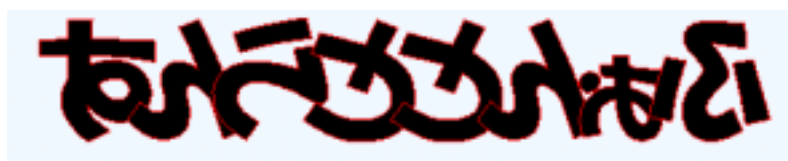
✓ 射影 Y (int)

生成する画像を Y 軸で射影(左右反転)します。初期値は「False」(Y 軸で射影しない)です。

射影 X 指定 (True)



射影 Y 指定 (True)



射影 X 指定 (True) 射影 Y 指定 (True)



7. 剪断

✓ 剪断 X (float)

生成する画像を X 軸方向(水平方向)に剪断させる割合を指定します。この値を指定することで、いわゆる「斜体」となります。初期値は「0」です。

✓ 剪断 Y (float)

生成する画像を Y 軸方向(垂直方向)に剪断させる割合を指定します。この値を指定することで、いわゆる「斜体」となります。初期値は「0」です。

✓ 切断伸縮(**bool**)

切断処理を行った場合に描画される領域を描画領域に合わせて伸縮するかどうかを指定します。初期値は「**True**」(伸縮する)です。

切断X指定(-0.5)



射影Y指定(0.2) 切断伸縮False)



8. 影

✓ 影X位置(**int**)

影とのX軸方向の距離をピクセルで指定します。「影伸縮」を行っている場合は、距離も伸縮の対象となるため、生成される画像での距離はここで指定した距離と異なる場合が殆どです。距離のピクセル数を厳密に指定したい場合は、「影伸縮」行わない様にしてください。初期値は「**0**」です。

✓ 影Y位置(**int**)

影とのY軸方向の距離をピクセルで指定します。「影伸縮」を行っている場合は、距離も伸縮の対象となるため、生成される画像での距離はここで指定した距離と異なる場合が殆どです。距離のピクセル数を厳密に指定したい場合は、「影伸縮」行わない様にしてください。初期値は「**0**」です。

✓ 影ハッチ(**bool**)

影の塗りをベタ(一面同じ色)にするか、ハッチ(平行線等の装飾)にするかを指定します。初期値は「**False**」(ベタ)です。

✓ 影ハッチ種類(**HatchStyle**)

影をハッチにした場合、どの種類のハッチにするかを指定します。初期値は「**LargeGrid**」(大きな格子)です。

✓ 影ハッチ背景色(**Color**)

影をハッチにした場合、ハッチの背景を何色にするかを指定します。初期値は「**GreenYellow**」(緑黄色)です。なお、ハッチ自身の色は「影文字色」です。

✓ 影伸縮(**bool**)

影をつけた場合に描画される領域を描画領域に合わせて伸縮するかどうかを指定します。影との距離(ピクセル)を正確に表現したい場合は、影伸縮しないを指定して下さい。初期値は「**True**」(伸縮する)です。

✓ 影文字色(**Color**)

影の色を指定します。ハッチが指定されている場合は、ハッチの色となります。初期値は「**Bisque**」(素焼きの陶磁器色)です。

✓ 影枠線幅(**float**)

影の枠線の太さを指定します。「**0**」に設定すると枠線は描画しません。初期値は「**1**」です。

✓ 影枠線種類(**DashStyle**)

影の枠線の種類を指定します。初期値は「**Solid**」(切れ目なし)です。

✓ 影枠線色(**Color**)

影の枠線の色を指定します。初期値は「**DeepSkyBlue**」(深い空青色)です。

影X位置指定(20) 影Y位置指定(10)



ふおんととらんす

The image shows the Japanese text 'ふおんととらんす' (Funtotransu) in a stylized, rounded font. The text is displayed with a shadow effect where the shadow is offset to the right and slightly upwards. The shadow is a lighter, semi-transparent version of the original text color.

影X位置指定(-50) 影Y位置指定(-20) 影伸縮False)



ふおんととらんす

The image shows the same Japanese text 'ふおんととらんす' as above, but with a different shadow effect. The shadow is offset to the left and slightly downwards. The shadow is a lighter, semi-transparent version of the original text color.

製品版について

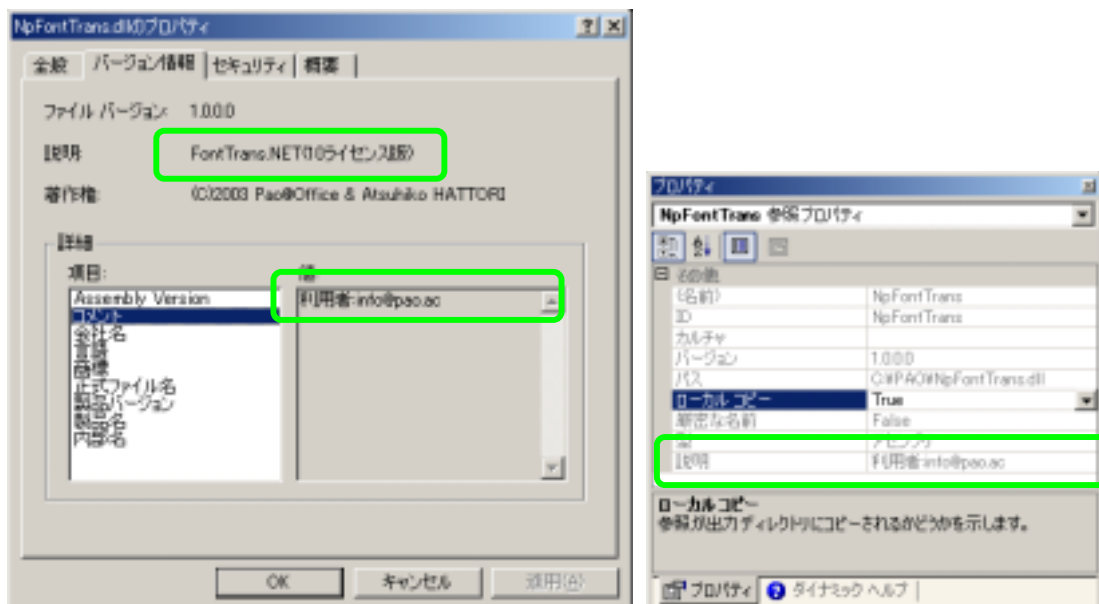
FontTrans.NET は、常に最新バージョンを試用版として以下の **URL** にて提供させていただきます。試用版の制限は、生成される画像に大きく「**SAMPLE**」という文字がはめ込まれます。



製品版は、**FontTrans.NET** を購入(ユーザ登録)された方全員にオーダーメイドで作成し、メールに添付して送らせていただきます。

製品版のファイルは、エクスプローラで右クリックし、「プロパティ」「バージョン情報」「コメント」を選択すると、購入(ユーザ登録)された方のメールアドレスが表示されます。また、「バージョン情報」の説明には、購入されたライセンス数が明記されています。

なお、メールアドレスの情報は、**VisualStudio.NET** プロジェクト内の参照プロパティでも確認する事が出来ます。



バージョンアップの歳は、**WebSite**にてお知らせ致します。お客様には、**WebSite**からバージョンアップ依頼をして頂きますと、すぐに最新版をメールにて送らせていただきます。

Q&A

- プロパティが日本語で気持ち悪いのですが?
 - 気持ち悪いというのはともかくとして、日本語であると **IME** の切り替えに手間がかかるだとか、なんらかの問題が発生する可能性があるだとか、色々のご意見はあると思います。作者もデータベースの項目名は「日本語で」と指定がない限りは英数字を使う様にしていたりします。しかし、日本人である以上、一見した時のわかりやすさを考えると、日本語でも悪くないと思いますし、インテリセンスを使えば設定もそれほど苦ではないかと感じています。
もし、どうしても英語(というか、作者では英語は無理なので英数字になります。)でのプロパティである必要があるという場合はご連絡下さい。センスがないローマ字もどきのプロパティで対応させて頂く事を検討させていただきます。

- 指定した領域からはみ出してしまう場合があるのですが?
 - フォントの種類や修飾の状態により、どうしても領域内に収まらない場合が発生してしまいます。絶対確実な方法もある(描画してから無理矢理拡大縮小をして合わせる)のですが、それを行うと画質が低下するため採用しませんでした。スペースを入れる等して工夫して使っていただくようお願いします。

- 複数行は扱えないのですか?
 - 扱えません。採用しなかった理由は **2** 点あります。**1** つは、複数行にした時の用途が見いだせなかった事です。もう **1** つは、行を複数にする事により増えると考えられるプロパティが膨大になると考えたからです。

- ○○すると××になるのはバグぢゃないのか?
 - 十分にテストを行っておりますが、バグが残っている可能性は **0** とは言えません。バグについては徹底的に潰していきたいと考えていますので、是非現象の情報をお寄せ頂くようお願いします。

- リクエストがあるのですが?
 - 是非ご意見/ご要望をお寄せください。今後の機能追加の参考とさせていただきます。
なお、必ず採用されるとは限りませんので、あらかじめご了承下さい。

使用許諾

FontTrans.NET の使用について、FontTrans.NET の使用者(以下「利用者様」と称します)と有限会社パオ・アット・オフィス(以下「弊社」と称します)は、以下の各項目についての内容に同意するものとします。

1. FontTrans.NET の使用に関する使用許諾書

この使用許諾書は、利用者様がお使いのパソコンにおいて、FontTrans.NET を使用する場合に同意しなければならない契約書です。

2. 使用許諾書の同意

利用者様が FontTrans.NET を使用する時点で、本使用許諾書に同意されたものとします。同意されない場合は、FontTrans.NET を使用する事はできません。

3. 試用制限

FontTrans.NET は、いつでもどこでも誰でもその機能を試していただくことが可能です。ただし、その制限として、作成する画像に大きく「SAMPLE」という文字が上書きされます。

4. ライセンス(使用権)の購入

利用者様が FontTrans.NET を正式に使用し続ける場合には、1 人または 1 台のコンピュータで FontTrans.NET を使用するにあたり、1 ライセンスを購入する必要があります。同時に複数の人が複数のコンピュータで使用する場合はどちらか少ない方のライセンスを購入しなければなりません。

5. 著作権

FontTrans.NET 及の著作権は、いかなる場合においても弊社に帰属いたします。

6. 免責

FontTrans.NET の使用によって、直接的、あるいは、間接的に生じた、いかなる損害に対しても、弊社は補償賠償の責任を負わないものとします。

7. 禁止事項

FontTrans.NET 及びその複製物を第三者に譲渡・貸与する事は出来ません。
FontTrans.NET の再販/再配布を禁止します。

8. 保証の範囲

弊社は FontTrans.NET の仕様を予告無しに変更することがあります。その場合の利用者様に対する情報提供は、弊社 WebSite にて行う事とします。

9. 適用期間

本使用許諾条件は利用者様が FontTrans.NET を使用した日より有効です。利用者様が本使用許諾条件のいずれかの条項に違反した場合、又は、本許諾条件に同意出来ない場合は、利用者様は FontTrans.NET を一切使用出来ないものとします。

代金支払い方法(ユーザ登録の方法)

FontTrans.NET を正式にご利用頂く場合は、ライセンスを購入して頂く必要があります。ライセンス形態及び代金支払方法は以下のとおりです。

- 必要なライセンス数の数え方
 - FontTrans.NET を組み込んだ 1 種類のアプリケーションソフトを利用する人数、もしくは、FontTrans.NET を組み込んだアプリケーションソフトをインストールするパソコンの台数で、いずれか少ない方。なお、開発用環境に組み込む数もライセンス数に含んで下さい。別の種類のアプリケーションソフトで利用される場合は、利用する数の合計が購入した数を下回っていたとしても、別ライセンスを購入して頂く必要があります。
 - ◇ 例 1) 4 台のパソコンにインストールしてご利用頂く場合、利用する人数が 2 人であれば、必要なライセンス数は 2 つです。
 - ◇ 例 2) 1 人の人が自宅と職場の両方で FontTrans.NET をご利用頂く場合、明らかにその使用目的が異なる場合であれば、それぞれに 1 ライセンスが必要です。(職場では法人扱い、自宅では個人扱いという場合。)
- ライセンス価格
 - ~10 7,000 円
 - ~50 10,000 円
 - ~200 15,000 円
 - 無制限 24,000 円
 - ◇ 本価格には消費税を含みません。
 - ◇ バグフィックス等のバージョンアップは原則として無償とさせていただきます。
 - ◇ 大幅な機能追加等によるバージョンアップの場合には別ライセンスとさせていただきます。
 - ◇ 本価格は FontTrans.NET の使用权に対するものです。カスタマイズや保守等の費用は一切含まれておりません。
 - ◇ ライセンスが追加購入される場合も、上記価格が適用されます。
- お支払方法
 - (ライセンス価格)+5%(消費税)を下記口座へお振り込み下さい。

銀行名	本支店名	口座番号	名義
三井住友銀行	日暮里支店	普通 6629094	ユ) パオアットオフィス
郵便口座番号		名義	
00150-0-576845		有限会社 パオ・アット・オフィス	

 - ◇ 手数料は利用者様負担でお願い致します。
- お支払いの通知と製品の送付

- 振り込みが完了した時点で、必ず弊社 **WebSite** の「入金連絡フォーム」から入金のご連絡をお願いいたします。
<http://www.pao.ac/products/FontTrans.NET/buy.html#form>
- 弊社では上記連絡を受けて入金確認を行い、製品を利用者様へ電子メールに添付して送付させていただきます。
 - ◇ 利用者様へは電子メール以外での製品送付は原則として行いません。
 - ◇ 製品は原則として再送付致しません。受信した製品は必ずバックアップを取る等して、内容を大切に保管して頂くようお願いいたします。
- お振り込み頂いても入金の連絡がない場合、こちらか振り込み人様の情報が分からないため、製品の送付が行えません。必ず入金連絡を行って頂くようお願いいたします。
- 見積書/請求書/領収書の発行について
 - 見積書/請求書/領収書は原則として発行致しません。法人様での利用等でどうしても必要となる場合等は、お手数ですが弊社までメールにてご連絡下さい。

変更履歴

バージョン	リリース日	変更点
1.00	2003.03.25	新規リリース
1.01	2003.05.08	影描画ロジック修正 内部初期描画文字サイズ変更